

## 第16回構造物診断士認定試験の案内

2017年実施の第16回構造物診断士認定試験の実施要領についてお知らせします。

### 1. 構造物診断士制度について

わが国における土木構造物、とりわけ道路構造物においては建設後50年を経過する橋梁が、今後、急速に増加し、その老朽化対策の確立が急がれております。

当協会は1987年に任意団体として設立以来、土木構造物の維持管理技術の開発と向上に着目し、「よりの確な診断で、適切な補修・補強材料と工法を用いる補修・補強工法」を合言葉に、調査、診断、補修・補強工法、補修・補強材料等に関する技術の研究開発に取り組んでまいりました。

とくに今後重要になる構造物の長寿命化技術の開発には、豊富な経験に基づいて習得した知識に裏付けられた実務型技術者が不可欠です。

当協会が実施する構造物診断士認定試験は、現在土木構造物に起きている諸問題、今後予想される問題も含め、鋼構造分野あるいはコンクリート構造分野を限定することなく、適切に対応できる実務型技術者を評価・認定する資格制度です。

このように当協会の構造物診断士は建設材料を限定しない資格であるため、その認定者は少数ではありますが、その技術力は各界より高く評価されております。

一級構造物診断士、二級構造物診断士の試験で鋼分野とコンクリート分野の両方で資格を取得できるのが特徴であり、国土交通省の「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者名簿」に登録されましたので、この登録においても構造物診断士は鋼橋とコンクリート橋の両方で活用することができます。

### 2. 構造物診断士制度の概要

構造物診断士には、一級構造物診断士と二級構造物診断士の二種類の資格があります。一級構造物診断士は、土木構造物の維持管理、経年劣化、耐久性等に関する点検、調査、診断および診断結果に基づく補修・補強・改修等の計画、設計、施工計画、施工ならびに施工管理を実施・指導する総合的技術を有する技術者へ付与されるものです。

二級構造物診断士は、維持管理計画に基づき、土木構造物の経年劣化、耐久性等に関する点検・調査業務を実施し、事後の診断、補修・補強・改修等の計画、設計等に必要な情報を的確に示せる技術を有する方へ付与されるものです。

一級、二級構造物診断士いずれも技術士やコンクリート診断士などの資格を保有してい

る方、または土木分野における鋼構造物あるいはコンクリート構造物に関する維持管理業務の実務経験（詳しくは受験資格の項の表をご参照ください）がある方に、当協会が実施する認定試験を受験していただき、一級あるいは二級構造物診断士として相応しい技術、経験および知識を有していると判定された技術者が、試験合格後、当協会の構造物診断士名簿に登録を申請した場合に有資格者として認定されます。

認定された資格の有効期限は4年で、4年毎に登録を更新することで資格は維持されます。なお、更新に当たっては研修単位の取得など、知識・技術の維持向上のために一定の更新条件が課せられております。（詳しくはホームページに掲載されている構造物診断士制度規則をご参照ください）

### 3. 第16回構造物診断士認定試験の日程

受験する資格	一級構造物診断士	二級構造物診断士
受験申請期間	2017年2月1日（水）～2017年4月28日（金）	
筆記試験日	2017年6月4日（日）	
面接試験日	2017年7月9日（日）	—
最終合格発表	2017年8月中旬の予定	

#### (1) 筆記試験

日 時 2017年6月4日（日）14:00～17:30（二級は16:30まで）  
 会 場 仙台、福島、東京、大阪、福岡5都市より希望する1箇所を選択して申請してください。

仙台：ショーケー本館ビル（仙台市青葉区五橋 2-11-1）

福島：コラッセふくしま（福島駅前）（福島市三河南町 1-20）

東京：フォーラム8渋谷（東京都渋谷区道玄坂 2-10-7）

大阪：大阪商工会議所（大阪府中央区本町橋 2-8）

福岡：福岡商工会議所（福岡市博多区博多駅前 2-9-28）

受 験 料 一級構造物診断士 28,000円（テキスト\*込み）  
 二級構造物診断士 25,000円（テキスト\*込み）  
 テキスト\*「土木構造物の診断の手引き」が不要の場合は  
 一級構造物診断士 15,000円（テキスト\*不要の方）  
 二級構造物診断士 12,000円（テキスト\*不要の方）

※テキスト「土木構造物の診断の手引き」について

■筆記試験問題は、当協会が編集したテキスト「土木構造物診断の手引き」から出題されます。

■テキストは2017年2月に内容を改訂し、またカラー版となりました。

■テキストは試験に先立って実施するテキスト講習会（6. テキスト講習会を参照）

で使用するものと同じですのでご注意ください。

一級構造物診断士の試験問題は、土木構造物の点検・調査ならびにその計画・実施に関する知識、診断および診断結果に基づく補修・補強・改修の設計・施工等に対応できる総合的な技術力と関連する実務経験を有していることを問う問題です。

二級構造物診断士の試験問題は、土木構造物の点検・調査ならびにその計画・実施に関する知識と実施能力および関連する実務経験を有していることを問う問題です。

(2) 面接試験（一級構造物診断士の筆記試験に合格した方のみ）

日 時 2017年7月9日（日）9：30～16：00（予定）

会 場 フォーラム8（エイト） 東京都渋谷区道玄坂

※面接試験は一級構造物診断士の筆記試験合格者に対してのみ行います。

※筆記試験合格者へは合格通知に面接時間を記載して個別にお知らせします。

(3) 合格発表

一級、二級とも最終合・否は書面にて、2017年8月中旬頃通知します。

4. 受験資格

受験資格を次ページに示します。

構造物診断士の受験資格

受験する資格	保有している資格 または学歴	実務経験年数		試験	
		指定学科 卒業後	指定学科以外 卒業後	筆記	面接
一級 構造物 診断士	技術士 コンクリート診断士 土木鋼構造診断士 コンクリート構造診断士 一級建築士 二級構造物診断士  ※上記いずれかを保有	—	—	○	○
	大学、大学院	4年以上	5年以上		
	短期大学、高等専門学校 専修学校（2年制以上）	6年以上	7年以上		
	高等学校	8年以上	9年以上		
	上記以外	10年以上			

受験する資格	保有している資格 または学歴	実務経験年数		試験	
		指定学科 卒業後	指定学科以外 卒業後	筆記	面接
二級 構造物 診断士	技術士 コンクリート診断士 土木鋼構造診断士 コンクリート構造診断士 一級建築士 コンクリート主任技士 コンクリート技士 1級土木施工管理技士  ※上記いずれかを保有	—	—	○	—
	大学、大学院	2年以上	3年以上		
	短期大学、高等専門学校 専修学校（2年制以上）	3年以上	4年以上		
	高等学校	4年以上	5年以上		
	上記以外	6年以上			

(注意)

「指定学科」とは、土木・建築系の学科とします。

「実務経験」とは、土木構造物の維持管理、経年劣化、耐久性、補修・補強・改修等に関わる業務において、技術者（補助者を含む）として直接関わった点検、調査、診断、計画、設計、施工、施工管理等のいずれかの職務経験をいいます。

なお、建設現場での単なる雑務や単純な労務作業、事務系の仕事に関する経験は該当しません。

また、実務経験年数は筆記試験前日までで計算してよいものとします。

大学院で鋼構造、コンクリート構造またはプレストレストコンクリート構造に関する研究を行った方は、その期間を実務経験とみなしてよいものとします。

## 5. 受験申込の手続き方法

受験の申請は、所定の受験申請書を用いてお申込みください。

受験申請に必要な書類は、当協会のホームページからダウンロードできます。

お申込みにあたっては、受験料を下記の銀行の協会口座へお振り込みいただき、振込控え（コピー可）を必ず受験申請書に添付してください。

振込先 三菱東京UFJ銀行 新宿新都心支店 普通口座 0058659  
口座名 一般社団法人 日本構造物診断技術協会

※振込手数料は貴方にてご負担下さるようお願いいたします。

受験の申請は、2017年2月1日（水）から2017年4月28日（金）（当日消印有効）まで、当協会事務局宛てに郵便で申し込んでください。また、郵送する封筒には必ず「**受験申請書在中**」と**朱書き**してください。

締切日を過ぎた受験申請および宅配便での受験申請は受理されませんので気を付けてください。

会社単位で複数の方が受験される場合、受験料をまとめてお振り込みいただいても結構です。その場合、振込控えのコピーを取って受験者氏名を記入し、受験者ごとに申請書に添付してください。

当方の領収書は、振込み銀行が発行する振込み控をもって代えさせていただきます。また、一旦納付された受講費はご返却できませんのでご了承ください。

受験申込者へは受験票を2017年5月中旬頃から郵送いたします。

受験票は、認定試験に合格した後、構造物診断士名簿への登録申請に必要な書類です。受験票の再発行は原則として行いませんので大切に保管してください。

テキストは受験申請書が事務局に届き次第、発送いたします。ただし、試験に先立って実施するテキスト講習会（次の6. 項を参照してください）で使用するテキストと同じものですので注意してください。

## 6. テキスト講習会

構造物診断士認定試験では、受験の前提として受講を義務付けた講習会は実施ませんが、筆記試験問題の出題元となるテキスト「土木構造物診断の手引き」を解説する講習会を開催いたします。

日 時	2017年4月13日(木) 9:00~17:00(予定)
会 場	川口駅前市民ホール「フレンジィア」(JR川口駅前)
講習内容	当協会ホームページの講習会案内を参照ください。
申込期間	2017年2月1日(水)~4月7日(金)
申込方法	当協会ホームページの講習会案内を参照ください。

## 7. 構造物診断士名簿への登録申請

認定資格は、最終合格者で所定の期間に構造物診断士名簿への登録を申請した者に対し、認定証と登録証を交付して付与されます。構造物診断士名簿の登録申請料は5,000円です。第16回認定試験合格者の登録申請期間は2017年9月上旬からを予定しています。登録申請書は合格通知とともに送付いたします。

また、構造物診断士名簿の登録を申請する者は、構造物診断士会への入会が必要です。名簿への登録申請と同時に入会手続きを行っていただきます。構造物診断士会の会費は4年間で5,000円です。登録申請料と診断士会会費の合計10,000円を同時に振り込んでください。

なお、名簿に登録された認定者の登録有効期間は4年です。登録を継続するためには4年毎に登録の更新が必要になります。また、協会では資格者の知識・技術の維持向上のための継続教育制度を設けており、登録更新のためには登録有効期間中(4年間)に当協会が主催する研修会などを受講し、4年間で4単位以上を取得していなければなりません。研修会の開催およびその単位数は、その都度協会ホームページでご案内いたします。

協会ホームページ <http://www.nsi-ta.jp>

お問い合わせは、下記事務局にEメールにてお願いします。

一般社団法人 日本構造物診断技術協会 事務局

住所 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-2-3 新宿アイランドアネックス 307号室

Eメール [nsi@isis.ocn.ne.jp](mailto:nsi@isis.ocn.ne.jp)

以上